

【保存版】研究倫理・伴走クイックナビ(教員用)

～私たちは「審査官」ではなく、生徒を守る「伴走者」です～

生徒が「先生、〇〇したいです!」と持ってきたら、以下の3ステップで対応してください。専門知識は不要です。

STEP 1: 生徒が「動く」前に、チェックシートを開く

生徒の口から以下のキーワードが出たら、まずは【行動検知チェックシート(QRコード/リンク)】と一緒に見ましょう。

- 「アンケートを取りたい」
- 「外部の人(企業・専門家)に連絡したい」
- 「ChatGPT(生成AI)を使いたい」
- 「薬品・火気・生き物を扱う実験がしたい」

STEP 2: チェックシートの指示に従い「テンプレ(武器)」を渡す

チェックシートの該当項目にチェックを入れると、右側に「指導すべき型」が示されます。生徒の活動を禁止するのではなく、以下のツールを渡して「安全な型」に導いてください。

- アンケートを取るなら:『T1: アンケート冒頭の定型文(コピー用)』を渡し、「これをGoogle フォームの最初にコピーしてね」と伝える。
- 情報やAIを使うなら:『T2: 出典明記チートシート』を渡し、「パクリにならないように、この公式通りに最後に書いてね」と伝える。
- 外部に連絡するなら:『T3: 外部依頼メール例文』を渡し、「学校の代表として、この書き方で送ろう。送信前に一度見せてね」と約束する。

STEP 3: 迷ったら、一人で抱え込まない(即答しない)

「AIで作った画像の著作権は?」ということや「このアンケート項目、ちょっとデリケートかも...」などのすぐには判断できないグレーゾーンの質問等が出た場合は、その場で即答・却下しないでください。

- 「先生も専門家じゃないから、他の先生と相談してくるね!」と生徒に伝え、一旦預かる。
- 学年会議や打ち合わせの「5分間シェアリング」で話題に出すか、理数部(〇〇先生)に投げてください。学校全体の知見としてアップデートします。